

第 7 回 ASEAN+3 エネルギー大臣会合共同声明（仮訳）

1. 第 7 回 ASEAN+3（中国、日本、韓国）エネルギー大臣会合は 2010 年 7 月 22 日にベトナム・ダラットにて開催された。ベトナムのブー・ファイ・ホアン 商工大臣が議長を、中国・銭智民・国家能源局副局長、日本の高橋経済産業政務官、韓国 金正寛・知識経済部次官補が副議長を務めた。さらに ASEAN 各国のエネルギー担当大臣が出席した。

より強固な域内エネルギー協力と統合に向けて

2. 大臣は、エネルギー分野における最近の状況について意見を交換し、経済成長、エネルギー・セキュリティ及び持続可能な環境という共通目標に向けて、より密接な域内協力と ASEAN+3 諸国による統率のとれた行動を必要とする旨を強調した。この点に留意し、大臣は、ASEAN+3 エネルギー実務レベル協力活動の成果を評価した。また、域内のエネルギー課題に、より実効的かつ効率的に対応すべく、各フォーラム（エネルギー・セキュリティと石油備蓄、天然ガスと石油市場、再生可能エネルギー・省エネ）のキーとなるテーマに沿って、作業計画の合理化に向けた ASEAN+3 エネルギー実務者協議の努力を評価した。大臣は、提案された 2010-2011 年 ASEAN+3 エネルギー協力作業計画を認証した。

エネルギー・セキュリティ

3. ASEAN+3 エネルギー・セキュリティ・フォーラムの成果を考慮し、大臣は、民生用原子力がエネルギー・セキュリティと気候変動問題という二つの課題に対応するのに重要な役割を果たすことを確認した。これに関し、大臣は民生用原子力のキャパビル・プログラムを主導してきた韓国による貢献への支持を再確認した。その上で、当該フォーラムに対して、エネルギー・セキュリティを促進するため、民生用原子力を活用していくキャパビル・プログラムの策定を指示した。
4. エネルギー・セキュリティを担保するための政策オプションを特定する一つの指標として活用するため、地域のエネルギー見通しに関する継続的な調査を評価し、ASEAN エネルギー需要アウトルック第 3 版の策定に向けた現行の努力を支持した。この目的のため、大臣は域内レポートを確かなものにするための ACE による支援の下、石油価格とエネルギーデータの収集に対する ASEAN 各国の価値ある貢献を奨励した。

5. 地域のエネルギー・ミックスに対する石炭の一層の重要性と信頼性を認識し、ASEAN+3 エネルギー・セキュリティ・フォーラムの不可欠なテーマとして、クリーンコール活用の重要性を確認した。大臣は、域内のエネルギー・セキュリティ改善に向けて、石炭の将来性と貢献についての計画を作成するため、当該フォーラムが ASEAN 石炭フォーラム (AFOC) と協働するよう奨励した。

石油備蓄

6. 大臣は、ACE と JOGMEC が共同事務局を務めた石油備蓄ロードマップ作業部会石油備蓄ロードマップ-WG への格別の感謝と共に、石油備蓄フォーラムの成果を確認した。大臣は、ASEAN+3 石油備蓄ロードマップが、ASEAN+3 各国が自国の備蓄ロードマップを適宜見直し、修正し、策定作業時における 4 原則に基づき、それが反映されるダイナミックな書類として、歓迎した。これに関し、大臣はその 2010-2011 年のフォローアップ作業、具体的には① 4 原則に基づき、必要に応じて各国石油備蓄ロードマップを継続的に見直し・修正し、その内容を次回大臣会合に報告② ASEAN+3 各国の石油備蓄計画の進捗を踏まえた、ASEAN+3 石油備蓄ロードマップの進捗レビュー、③ 日中韓による適切なサポートの下、ASEAN 各国の石油備蓄ロードマップ推進を加速するためのワークショップ開催を歓迎した。
7. 大臣はまた、IEA の緊急時対応訓練 (2010 年 9 月、2011 年 3 月) への招聘を歓迎し、そうした IEA との共同プログラムを通じ、ASEAN 各国の緊急時対応に関する専門性を高めることができることを確認した。

天然ガス

8. 大臣は、天然ガス貿易、市場開拓、研究開発、域外を含む技術協力といった分野での確かな情報交換や、より緊密な協力を通じた、天然ガスに関する域内対話を、その貢献を認識しながら、奨励した。大臣は、ASEAN+3 天然ガスフォーラムにより提唱されたイニシアチブ、具体的には① ASEAN+3 各国による天然ガス政策、開発計画とプロジェクトの取りまとめ、② ASEAN+3 地域における天然ガス市場の予備調査を指示した。大臣はさらに、ASEAN+3 各国が、域内の天然ガス産業を適切に主導する計画作りを継続することを確認した。

石油市場

9. 不確実な世界経済の見通しと、依然として変動が大きい石油価格に留意し、大臣は、より透明性の高い市場を通じて、国際石油市場を一層安定させる

必要性を認識した。これに関し、大臣は JODI への継続的な支援を表明し、石油産消国間に、より強固な関係を構築し、協力を強化していくことを奨励した。大臣は、これに向けた ASEAN+3 各国の努力を賞賛し、域内の石油市場安定化に向けた予防的な政策措置を構築する、更なる前進を期待した。

NRE・EE&C

10. 大臣は、ASEAN+3NRE・EE&C フォーラムの成果を歓迎した。省エネが地域のエネルギー原単位を改善し、気候変動問題に対応する上でコスト面で最も効率的な方法であることに留意し、大臣はエネルギー効率に関するベストプラクティス（組織的なキャパビル、ASEAN+3 各国における省エネ技術の促進・普及に関する産業界の参画）を共有するよう一層の動機づけをフォーラムに指示した。
11. 大臣は、KEMCO と ACE が共同で提供する ASEAN+3CDM プログラムに対する韓国の支援に感謝した。大臣は、本 CDM プログラムが温室効果ガスの削減と、持続的成長の促進を進めるような機会の拡大に寄与すると確認した。KEMCO と ACE から提案された、関心国に対して CDM プロジェクトの FS を実施するというフォローアップ活動計画を歓迎した。
12. 大臣はまた、ASEAN+3 各国における再生可能エネルギーの発展・普及の重要性を再認識した。大臣は、地域を通じた技術の発展を促進するために強力な政策と法規制枠組みが必要だと確認した。
13. 大臣は、2010 年 1 月、東京で開催された効果的な省エネ政策担当者向け共同ワークショップの調整をした METI を評価した。大臣は、共同ワークショップのレポートに言及し、省エネに関する特定の政策ガイドラインを規定するための更なる協調を奨励した。

その他

14. 大臣は、（１）天然ガスとオイル・マーケット、（２）石油備蓄、石炭、民生用原子力を含むエネルギー・セキュリティ、（３）CDM を含む NRE・EE&C の３つから構成される SOME+3 フォーラムの新たな枠組みを歓迎した。
15. 大臣は SOME+3 エネルギー協力の現行の活動に対し大きな支持を表明し、ブルネイで 2011 年に開催される次期 AMEM+3 での更なる発展と提言のレビューを期待する。